



にゅーすれたーふじやま・長泉 デイサービスとデイケア



2019.7

パナソニックエイジフリーショップ

87歳の義母が大腿骨骨折で4か月入院し、5月24日に退院。デイサービスに通い始めて2か月近くになります。要介護2をいただいたのでリハビリを兼ねて月曜日から金曜日まで、ほぼ毎日デイサービスとデイケアを利用しています。はじめは行ってくれるかどうか不安でしたが、楽しそうに毎日出かけて行きます。足元の不安を除けば、入院前より規則正しい生活を送るようになりました。本当に良いシステムだと感謝しています。私は福祉関係の仕事をしているので、デイケアとデイサービスの違いを把握しているつもりでしたが今回の件で改めて確認するためにネットで調べてみました。

大雑把にいうと、デイサービスは通所介護。デイケアは通所リハビリテーションで介護保険の別のサービスです。4つの違いがあり①目的②スタッフ(医師)の配置③機能訓練(リハビリ)④利用料金が大きく異なります。



デイサービスとは、一般的に「通所介護」と呼ばれる介護保険サービスです。その名の通り、利用者様が事業所に通い、食事や入浴、機能訓練といった介護サービスを受けることができます。もともと在宅で介護をしている家族の負担を軽減するレスパイトケア目的のデイサービスが多くありましたが、最近ではリハビリ特化型デイサービスなども増えてきています。

デイケアとは、一般的に「通所リハビリテーション」と呼ばれる介護保険サービスです。利用者様が事業所に通い、介護サービスを受けることができる点はデイサービスと同様ですが、通所リハビリテーションという名の通り、身体機能の維持や生活機能の向上を目的として理学療法士などのリハビリ専門職によるリハビリテーションを受けることができます。

特にスタッフ配置の大きな違いは、医師とリハビリ専門職(理学療法士、作業療法士、言語療法士)が必ず在籍しているかになります。デイサービスの場合も機能訓練を行います。必ずリハビリ専門職が指導してくれるとは限りません。一方で、デイケアはいわゆるリハビリテーションに特化したサービスですので医師や理学療法士をはじめとしたリハビリ専門職が必ず在籍しており、個別にリハビリを受けられます。

大切なのは、先ず介護の方向性を決め、ケアプランを作成することです。

●ケアプランとは被介護者本人とその家族が充実した生活が送れるように、長期的、短期的な目標が設定されています。「**ケアマネジャー**」と呼ばれる介護支援専門員が在籍している居宅介護支援事業所などに依頼すれば、無料で作成してもらえただけでなく、被介護者の身体状況が変化するたびに作り直すことが可能です。義母は、エイジフリーショップふじやまの高橋ケアマネジャーに依頼してデイサービスとデイケアを併用して利用する計画をたててもらいました。

多くの長寿者に明るく楽しい日々を送っていただけるようにしてあげたいですね。必要なら私どもでもお手伝いできることもあります。お気軽にお声がけください。(0545-55-1288まで) 渡邊啓視

